

赤ちゃん先生への寄付金

◎使用内訳報告書

内訳明細書

信州1%プロジェクトさま

ママの働き方応援隊長野塩尻校 中田真優美

日付	内訳	金額
2020年2月4日	赤ちゃん先生プロジェクト 岡谷上の原小学校開催費用として (メイントレーナー1名、サブトレーナー1名、ママ講師4名)	¥19,000
同	同 プログラム使用料として	¥6,000
同	同 事務運営費として	¥5,000
2020年3月23日 (延期)	赤ちゃん先生プロジェクト 高齢者施設こもれび (メイントレーナー1名、サブトレーナー1名、ママ講師4名)	¥19,000
同	同 プログラム使用料として	¥6,000
同	同 事務運営費として	¥5,000
	小計	¥60,000
	消費税	¥6,000
	合計	¥66,000

ママの働き方
応援隊が授業
NPO法人ママの働き方
応援隊の長野塩尻校(塩尻市金
井)は4日、乳幼児や母親と

赤ちゃんから学ぶ命の重み

上の原小児童が乳幼児親子と交流



赤ちゃんに触れ合う児童たち

の交流を通して命の重さを感じてもらおう「赤ちゃん先生プロジェクト」の授業を上の原小学校で開いた。岡谷市内では初めての開催で、4年生50人は母子を囲んで話を聞いた。

り、直接触れ合ったりしながら命の重みと生命誕生の奇跡を感じた。

同プロジェクトは、出産後の女性が子育て中にしかできない社会貢献の形として、学校や施設などを訪問する。さまざまな人と関わることで、育児への自信につながる狙いもある。

4年生は総合的な学習で「二分の一成人式」をテーマに、これまで育ててくれた親への感謝を伝える取り組みを進める。この日は8〜10人の班に分かれて4カ月〜1歳6カ月の乳幼児を抱っこし、絵本の読み聞かせを通して触れ合うと、次第に柔らかな表情になっていった。

司会を務めた応援隊長の村上春菜さんは妊娠8カ月で自身のおなかを見重たに触れると「一人に一つしかない命。家に帰ったらみんなも自分の小さかった頃の写真を見せてもらって」と呼び掛けた。

1組の増澤莉亜さん(10)は「小さくてかわいかった。自分が赤ちゃんだったことを振り返ることができた」と話していた。



4年生「赤ちゃん先生」の授業。私はちょっとなんか見ていませんが、お母さんのおなかで大事に守られ、そしてお母さんの腕の中で安心して抱かれている赤ちゃんの姿から、一人一人の命がかけがえのないものであることやおうちの方へのありがたい気持ちを、言葉ではなく実感として捉えていたと思います。